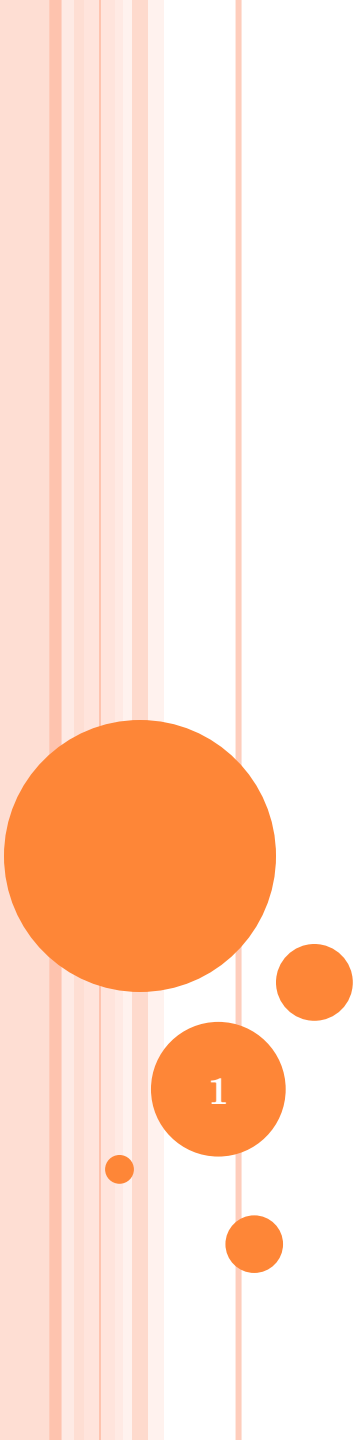




海外派遣プロジェクト 派遣報告

今夏、タイ王国派遣で学んだこと

1

食機能保全科学専攻
修士2年 中川未久

派遣概要

- 行 先 : タイ王国 (バンコク)
- 協力大学: チュラロンコーン大学
- 派遣先 : BETAGRO Science Center社 (BSC)
- 期 間 : 2012年7月5日から7月20日(16日間)



派遣までの流れ

募集



TOEICによる選考(10月)



選抜者に対して英会話のレッスン
(11月～2月)



日本語・英語による選抜面接
(5月)



タイへ派遣(7月)

* 英会話のレッスンについて

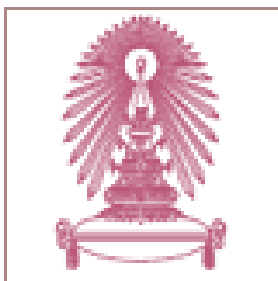
- ・週1回 2時間のレッスン
- ・日本人講師8回 カナダ人講師5回

「あなたの家族について説明してください」
「あなたのオススメの本屋は？」
など、自分の身の回りの物の説明
自分の考えを伝えることが中心。
うまく言葉が出ず、もどかしいこともあった。



協力機関の紹介

チュロンコン大学



- ・タイを代表する総合大学
- ・Food Technology学科の
Swuimon先生・学生さんにご協力いただいた



BETAGRO SCIENCE CENTER (BSC)



- ・タイの大手の食肉加工会社
- ・EU、アメリカ、日本など世界中への
食肉製品の輸出
- ・日本企業と協力関係



スケジュール

月	火	水	木	金	土	日
			7/5 出発	7/6 BSCで打 ち合わせ	7/7 生活準備	7/8 観光
			← パックさん滞在期間 →			
7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14 観光	7/15 観光 (水上マー ケット)
← BSC出勤 →						
7/16	7/17	7/18 食品工場 見学	7/19 大学見学	7/20 帰国		
← BSC出勤 →						

- ソーセージ工場
- ベーカリー
- 販売店(スーパー)



現地での生活

1. 研究

【コンセプト】

本研究室でのDNAタイピング技術とBSCにある機械(キャピラリー電気泳動)を用いた共同実験を行う

【目的】

リステリア菌の迅速かつ簡便な汚染源追跡法の開発

【実験】

共同実験者

Songさん Mayさん Kungさん Tangさん(学生)

実験の流れ

1日のはじめと終わりには実験計画や進捗状況についてディスカッション



現地での生活

1. 研究

【研究所】

- ・約20人のメンバー
- ・アットホームな雰囲気

【ディスカッション】

- ・英語のディスカッションを通して方向性を決定
- ・『Up to you』

自分の意思をはっきりと持ち
伝えることの大切さ



現地での生活

2. 交友

チュラロンコーン大学の学生にバンコク市内を案内してもらいタイの文化や風習に触れることができた



友人とのコミュニケーションも英語
→英語は共通のコミュニケーションツール

「上手に話すこと」よりも
「相手を理解する姿勢」



派遣を通じて得たこと

研究面

- 同じような研究をしている方と出会えた
→世界に通用する研究を行っている
- 修士学生としての自覚
→高い知識や技術を求められる

考え方・精神面

- 自分の考えを持ち、相手に伝える
→自分の考えと相手の考えをぶつけ合う
- 英語は最低限のコミュニケーションツール
→互いに理解しあう姿勢がより大切
- 世界は広く、日本にとどまっていはいけない
→世界と日本をつなぐ人材になりたい

